

相澤 冬樹さんは語る

大阪日日新聞記者・編集局長

相澤

ニュースの見方、作られ方

～真実を知りたいあなたに

7月24日(土)

13:30～16:00

奈良県文化会館小ホール

参加費 500円 近鉄奈良駅より東へ徒歩7分

聖火リレーの批判音声の中継で消したNHK。オリンピック報道で腰が引けているように見えるマスコミ各社。報道の自由であるんでしょうか？報道の自由は権威や権力から自由に報道するということで、好き勝手に取材報道するという意味ではないはずです。

大事故大事件大災害のたびに問題になる被害者ご遺族取材。いや、してはいけないんじゃないかと感じる人もいます。実名報道は何のため？これも多くの人が疑心の大きな一因です。

森友公文書改ざん事件で命を絶った財務省近畿財務局の赤木俊夫さんが改ざんについて告発した「手記」を、私は週刊文春誌上で全文掲載し、妻、赤木雅子さんが3年間苦しみ抜いた経緯と、思いを記事にしました。大きな反響がありました。この取材も「被害者ご遺族取材」そのものです。被害者ご遺族の取材は「人の不幸」を取材することに他なりません。では、なぜ人の不幸を取材するのか？どんな取材なら許されるのか？

夜討ち朝駆け、特ダネ競争に意味はあるのか？それもよく問われます。誰も知らない「真実」をどうしたらつかむことができるのか？記者生活34年で私なりに得た今の結論は「取材は愛だ」ということです。なぜ愛なのか？

「ニュースはどうやって作られているのか？ニュースをどのように見ればいいのか？そんなことを皆さんと考えていけたらいいなと思っています。」

プロフィール：

- ・東京大学法学部卒業
- ・1987年(昭和62年)NHKに記者として入局。山口、神戸、東京社会部、徳島、大阪などで勤務
- ・神戸では阪神・淡路大震災を取材
- ・2017年 大阪司法キャップとして森友事件を取材。翌年、記者を外され退職。
- ・2020年3月18日発売の週刊文春記事

「森友自殺財務省職員遺書全文公開『すべて佐川局長の指示です』」

著書：

- ・「真実をつかむ～調べて聞いて書く仕事」(角川新書)
- ・「メディアの闇～安倍官邸vs.NHK 森友取材全真相」(文春文庫)
- ・「私は真実を知りたい」(文藝春秋) 赤木雅子さんの共著

マスクの着用をお願いします。尚コロナ対策のため、お名前と電話番号を頂戴致します。